

# 心の風景 —我が母校—

## 佐渡市立松ヶ崎中学校

松ヶ崎中学校は、市内で生徒数が最も少ない極小規模校です。生徒達は、豊かな自然と地域の皆様に支えられ、伝統を受け継ぎながら充実した学校生活を送っています。

松ヶ崎中学校といえは「学校林」といわれるほど伝統があるのが学校林活動です。創立まもない昭和25年に松の植林を始め、その後現在に至るまで毎年、学校林の作業を行ってきました。残念ながら第一学校林は、松枯れで全て伐採して、学校の管理を離れましたが、第二から第四学校林では、現在も生徒達が保護者や地域の皆様の協



春の学校林作業（第二学校林）



第1回鼓童交流会（鼓童研修所・旧岩首中）

教育という視点からは、教育の最先端を行く活動となっています。

生徒達が、毎年、楽しみにしている活動に鼓童文化財団研修所の研修生との交流があります。この交流も、既に10年以上続いています。太鼓等の音楽活動に全力で取り組んでいる研修生の姿に直接ふれることができる貴重な体験の場となっています。生徒達は、研修生と「友情ソング」を歌ったり、太鼓演奏を聴いたり、自分自身の生き方を語ってもらいながら、交流を深めています。

平成24年度からは、現在地の木造校舎から、松ヶ崎小学校との連携校として、現松ヶ崎小学校校舎と増築された新校舎へ移転します。校舎は替わっても、地域に根ざした特色ある教育活動を今後も積極的に推進していきます。

◆教育委員会学校教育課（両津支所内）

☎ 23—4898

力を得ながら活動を行っています。植林をした当時と今では、社会が大きく変化しましたが、松ヶ崎を愛する心は、変わることがありません。環境

## ジオパーク、推進日記



### 日本海のはじまりは…？

約2000万年前の大昔、日本列島はまだ大陸の一部でした。その後、大陸の一部が割れ始め、現在の日本海になる海がつくられました。その海に初めてたまった地層が、西三川・砂金山ジオサイトや、相川・金銀山ジオサイトで見られます。

日本海に一番最初にたまったのは、おもに砂の地層でした。たくさんのお砂がたまった海底には、いろいろな生きものが住んでいました。人の顔ほどもある力キや、手のひらほどの大きさのホタテ貝もあれば、米粒よりも小さく、顕微鏡を使わなければ観察することが

できない生きものの化石も見られます。西三川では一緒に砂金もたまっていました。

日本海に砂の地層がたまったことで、海底に生きものが増えたのです。そこから1600万年の時が経ち、私たち人間が佐渡で生活するようになりました。そして今、一番最初の日本海の地層を佐渡で観察することができます。

一年のはじまりは元旦から。私たちがの始まりは日本海から！今年もみんなでジオパークを推進していきましょう！

◆教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室（両津郷土博物館内）  
☎ 23—2100

## ミニシンポジウム & 特別講演会 同時開催のお知らせ

下記の日程でミニシンポジウムと特別講演会を実施します。

日時 2月25日（土）

・ジオパーク市民講座

ミニシンポジウム

午前10時～正午

・特別講演会

午後1時30分～午後3時

場所

佐渡島開発総合センター3階



お問い合わせの  
うえ、ふるってご  
参加ください！

